

# 1-6 気象概況

年 月	降 水 量 (mm)				気 温 (°C)					風向・風速 (m/s)					日照時間 (h)
	合 計	日最大	最大		平 均			最 高	最 低	平均風速	最大風速		最大瞬間風速		
			1時間	10分間	日平均	日最高	日最低				風 速	風 向	風 速	風 向	
平成24年	2,364.0	219.0	71.5	21.5	16.4	21.1	12.5	37.2	-4.5	2.3	11.4	南	20.5	南	1887.6
25	2,045.5	101.0	42.0	18.0	17.1	22.0	12.9	38.3	-2.2	2.2	11.3	南	20.7	南	2135.5
26	1,856.0	167.0	44.5	12.0	16.6	21.5	12.6	37.7	-2.9	2.3	10.6	北	18.9	北	1865.3
27	2,063.0	103.5	69.5	20.0	17.1	21.9	13.2	38.5	-2.9	2.2	13.1	北北東	26.0	北北東	1874.4
28	2,451.5	190.5	47.5	17.0	17.8	22.7	13.9	38.0	-6.5	2.2	10.7	南南西	19.7	南南西	1707.1]
29	1,678.5	138.5	58.5	21.5	16.9	21.9	12.8	37.7	-3.6	2.1	11.0	南	19.9	北東	2081.0
30	1,900.0	277.0	49.5	15.5	17.4	22.4	13.2	39.5	-3.8	2.2	13.1	南	23.6	南南西	2139.0
令和元年	2,154.0	323.5	90.0	22.5	17.6	22.6	13.5	38.4	-1.1	2.1	20.0	南	32.4	南	2001.4
2	2,779.0	271.0	92.5	21.0	17.5	22.5	13.3	37.8	-2.0	2.2	15.5	南南東	29.9	南	2102.9
3	2,396.5	294.0	72.0	20.0	17.8	23.1	13.6	37.2	-5.0	2.2	15.5	南	25.5	南	1711.8]
【 内 訳 】															
令和3年1月	33.0)	10.0)	4.0)	1.5)	6.1)	10.5)	2.2)	18.5)	-5.0)	1.9)	8.3)	西北西	14.6)	北西	134.5)
2	97.0	32.5	12.5	3.5	9.3	15.0	4.4	23.0	-2.3	2.4	8.0	西北西	15.8	西	179.2
3	120.5	31.5	13.5	6.5	13.4	19.3	8.5	25.1	3.1	2.4	7.4	西北西	14.4	北	177.4)
4	115.0	49.5	10.5	4.5	16.6	22.9	11.2	30.7	5.5	2.4	7.5	北北東	15.3	西南西	209.8
5	374.0	115.0	29.5	9.0	20.2	25.5	15.6	32.4	7.2	2.1	8.5	南南西	16.8	南南西	153.3
6	147.0	41.5	16.5	5.0	25.0	30.4	20.9	35.6	16.3	1.9	6.0	南	12.1	南	170.9
7	108.0	42.5	20.0	9.0	28.3	33.3	24.8	37.2	22.7	2.7	8.7	南南西	15.9	南南西	180.2
8	1,137.0	294.0	72.0	18.5	27.3	31.6	24.0	37.0	20.3	2.1	7.8	南南西	16.7	南南西	142.3
9	143.0	61.5	30.5	20.0	25.9	30.4	22.7	33.0	19.9	2.4	15.5	南	25.5	南	160.3
10	2.0	1.5	1.5	1.0	20.8	26.8	16.1	33.1	9.6	2.3	6.7	北	13.8	北北東	228.8
11	88.5)	38.5)	20.0)	10.0)	13.0)	18.6)	8.6)	24.1)	3.7)	1.6)	6.2)	東北東	12.1)	西北西	157.4
12	31.5	26.5	7.5	2.0	7.8	12.6	3.7	18.2	-0.6	1.7	7.8	北西	14.6	西北西	131.4

資料：気象庁HP「過去の気象データ検索」

※この表は、地域気象観測所（北緯33度18.2分、東経130度29.6分、海拔7m、久留米市津福本町）における観測値である。

※掲載している気象データは、過去にさかのぼって修正される場合がある。

※数値に関する記号の説明について、以下のとおり気象庁HP「過去の気象データ検索」>利用される方へ」より説明文を抜粋する。

「]」：統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱います（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

「[」：統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています（資料不足値）。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があります。